

《ポスター発表 概要》

10月29日火曜日の5,6校時に2学年による学術研究Ⅱ「ポスター発表」があった。ゼミに分かれて、班ごとに昨年度2月から始めた本格的な課題研究のこれまでの活動内容や、現時点での成果、これからの研究の展望などを発表した。また、外部の先生方、そして一高生どうしの質疑応答により、新しい気づきを得るなど、有意義な時間を過ごすことができた。

《各ゼミにおける発表の様子》

物理ゼミ

前回の発表では、ゼミ担当の先生方から情報やデータ数の確保など、更に研究を深める必要があるのではないかと指摘を受けたため、改善をして発表に臨んだ班が多く見られた。

前回のポスター発表からあまり日数が空いておらず、根本的な内容を改善するのは難しいと思われたが、それぞれの班が最善を尽くした発表になったと思う。

化学ゼミ

これまでの研究を整理し、うまくポスターにまとめて発表できていた。度々の発表を通して、様々な質疑に的確で素早い応答ができていてよかった。

生物ゼミ

ポスターの構成や発表の仕方など、最後のポスター発表ということもあり、随所に工夫が見られた。質疑応答の時間も、鋭い質問に対しても誠実に応答し、自分たちの研究に対する理解を深めることができていた。



質疑応答の様子

地学ゼミ

ゼミ内発表で先生や教授の方々からいただいた多くのアドバイスをもとに、研究内容の修正を行ったことで発表の説得力が増し、方向性がはっきりとした発表が多く見られた。質疑応答も活発に行われ、良い内容だった。

数学ゼミ

前回より研究の成果が定まってきたと感じた。考察や展望では新たなものを生み出そうとする意識が見られた。ゼミ内の発表で鋭い質問を受けたことをきっかけに、しっかりと質疑応答のレベルを上げていてレベルの高い発表となった。

情報ゼミ

発表はスムーズに進行したが、質疑応答の時間で間が空いてしまうことが多かった。しかし意義のある質問も多く見られて良かった。

国語ゼミ

ゼミの特徴として文献調査をする班が多いため、結果が主観になっていないかと指摘されることが多かったが、どの班も研究の観点を適切に定めることができていたように感じた。どの班でも積極的な質疑応答が行われ、非常に有意義な時間となった。先生方からは、情報やデータ数の確保など、更に研究を深める必要があるのではないかとアドバイスをいただいた。

地歴ゼミ

今までの研究の着地点を、各班明確に示せていた。一高生や外部の先生方からの質疑も多く、活発な発表が行われていたように思う。考察や展望では新たなものを生み出そうとする意識が見られた。

公民ゼミ

全体的に良い発表ができていると感じられる。発表や質疑応答から社会問題に対する熱意が感じられた。前回のゼミ内の発表で受けたアドバイスをしっかり受け止め、自分たちのものにできている班が多く、内容に説得力がさらに増したように思う。

英語ゼミ

ゼミ内の発表では、発音をさらに流暢にすることが課題であったが、全体的に滑らかに発音できおり、発表、質疑応答ともにレベルが上がっていた。この調子で口頭発表もよい雰囲気で見たい。

保体ゼミ

説得力をもう少しつけるという課題が前回の発表で浮き彫りになったため、多くの班が内容を修正して発表に臨んだ。まだ修正点があるものの、レベルは上がってきているので口頭発表でさらに良い発表をしたい。

音楽ゼミ

質疑応答の際には、実験の条件の適切さなど、研究方法に関する質問が多く、先生からは、音楽の研究では感覚を数値化するため多くのサンプルが必要であることをご指摘いただいた。



発表の様子



質疑応答の様子

家庭ゼミ

今回の発表会では、これまでの学術研究から得られた結果を、聴衆に発表できていたと思う。ユニークな研究テーマや視点を持つ班も多く、多くの人が発表を見に来てくれて良かった。全体的に有意義な発表会になった。

災害研究ゼミ

班の数は少ないが、多様な研究テーマと発表方法の工夫が功を奏し、たくさんの方が聴衆として参加してくれた。

編集後記

全体で行うものとしては最後の、学校公開という形での発表会だった。各々が今までの研究の成果を対外的に示し、ゼミの枠を越えて意見交換する良い機会となったように感じる。また、この発表会で得た気づきや発見を、口頭発表会や、班によっては萩ホールでの発表に向けて生かしていこうという気概も感じられ、有意義な発表会だった。



発表の様子